イノシシの生態

項　目	内　容
食べ物について	執着心が強く，一度でも畑をエサ場と認識すると，執拗に侵入しようとします。 防除に隙間などがあれば，侵入箇所を覚え，同じところから侵入します。
学習能力	学習能力が高く、侵入箇所を探しても入れないと学習すると，他のエサ場を求めます。「エサが食べられない」と学習させることが有効です。
活動する時間帯について	夜に活動をするのは，イノシシにとって怖い人間が現れないからです。実際には昼間も活動します。人気のない場所では昼間も侵入するため，電気柵は必ず24時間通電にしましょう。
音，臭い，光について	音や臭い，光に効果があるという話がありますが，継続して効果を出すことはできません。最初は効果があっても，安全だと学習すると平気で侵入してきます。
臆病な性格	臆病で警戒心が強いため，人目から隠れる場所に潜もうとします。 田・畑を荒らしているイノシシは，山からきているのではなく，エサ場の近くの茂みに棲みついています。 エサ場の付近に放置した茂みがあれば，イノシシにとって安全な隠れ場になります。
弱点は鼻	全身が暑い毛皮で覆われているため，電気柵や有刺鉄線などが触れても効果はありません。電気柵が有効なのは鼻先に触れた場合だけです。
繁殖	出産は通常年に１回で，頭数は平均で4～5頭程度です。
身体能力	イノシシはとても力が強く，鼻で70kg程度の岩を押すことができます。 したがって，人間が乗せたブロックなどを平気で動かします。 跳躍力については，個体差がありますが，助走なしで１ｍ以上（最高で120cm程度）の柵を超えることができます。 跳躍するときは，障害物から20～40cm程度離れた場所から踏み切って飛びます。また，崖や石垣などは，前足の蹄をかけて登ります。
行動	イノシシは警戒心が強いため，初めて見た物については，視覚と嗅覚でそれが安全なものかどうか探査行動をします。 その時に鼻先で触るので，電気柵で防除をするのは，このタイミングで通電した電気柵に鼻先で触れさせることが大切です。 一度安全だと学習した場合，二度目以降は探査行動をしません。 だから，最初に触れた時に電気が流れていなければ，その後いくら電気を流しても，そのイノシシには電気柵の効果がありません。 また，イノシシは跳躍力に優れていますが，基本的に障害物の下から潜り抜けようとします。隙間や下側から侵入できないと判断したときになってから、上から飛び越えようとします。